

手立て一覧表

「授業チェック表」に、授業に位置付ける主な数学的活動の中で、できている項目にチェック（☑）をしてみましょう。チェック（☑）が付かない項目については、この「手立て一覧表」にある手立ての項目の中で、参考になる手立てを基にして、それぞれの授業の中に取り入れてみましょう。

★授業で必要となる前時までの学習内容を復習したり、本時の課題を知ったりする活動 （主につかむ段階）

- ★1 興味・関心をもつことができるような課題に取り組ませていますか。
 - ・ 興味・関心を喚起するような日常生活と結び付けた題材を取り扱う。
- ★2 課題提示の仕方の工夫を行っていますか。
 - ・ 具体物やプレゼンテーションソフトを用いるなど、視覚的な提示を心掛ける。
 - ・ 「なぜ？」と思わせるような課題提示の工夫を行う。
- ★3 本時の学習に必要な、これまで学習した内容を復習させる時間を設けていますか。
 - ・ 身に付けさせたい資質・能力を明確にする。
 - ・ 本時の学習に必要な既習事項を把握して、復習内容を絞る。

【ア 成り立つ事柄を予想する活動】 （主に見通す段階）

- ア1 課題について、分かっていること、分からないこと、何を求めなければならないかを確認させていますか。
 - ・ 問題把握のために、分かっていることや分からないことなど必要な情報を整理させる。
- ア2 課題解決の方法や結果を予想させていますか。
 - ・ 直感的に推論させ、およその答えを予想させる。
 - ・ 課題を解決する方法を予想させる。
- ア3 課題を解決するための見通しをもたせ、これまで学習した内容の中から何が利用できるのかを考えさせていますか。
 - ・ これまで学習した内容の中から、何が利用できそうかを予想させる。
 - ・ 生徒の気付きや疑問を取り上げ、本時では何ができるようになるればよいのか、何をどのように考えればよいのかを明確にして、「めあて」を設定する。

【イ 観察・操作などの具体的な活動】 （主に見通す段階、練り合う段階）

- イ1 図形や数量などの性質を、具体的な操作活動を通して見いだすことができるようにしていますか。
 - ・ 観察や操作、実験などの具体的な活動を取り入れる。
 - ・ これまで学習した内容を基に、課題に応じて、帰納的、類推的、演繹的に考えさせる。
- イ2 解決に向けて粘り強く取り組ませていますか。
 - ・ いろいろな解決方法を考えさせる。
- イ3 得られた結果から予想したことが正しいかどうかを判断させていますか。
 - ・ 活動を通して分かったことから、予想したことが正しいかどうかを判断させる。
 - ・ 生徒の反応に対して意図的に問い返しを行い、これまで学習した内容と関連付けて考えさせる。

【ウ 自分の考えを人に伝える活動・人の考えを理解する活動】
(主に練り合う段階、深める段階)

- ウ 1 自分の考えをもって、説明することができるようにしていますか。
- ・ 自分の考えをもたせるために、個人で考える時間を取る。
 - ・ 話し合う目的や必然性をもたせる。
- ウ 2 目的に応じて、言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて説明することができるようにしていますか。
- ・ 数学的な表現を用いて説明することができるように、具体例を示す。
 - ・ 言葉や数、式などを関連付け、簡潔・明瞭・的確に説明させる。
- ウ 3 多様な考えに触れさせ、よりよい方法で課題を解決することができるようにしていますか。
- ・ 他者の説明で分かりやすい説明は、自分の説明に書き加えさせる。
 - ・ 他者の考えと自分の考えを比較して、同じ考えや違う考えを確認させる。

【エ 統合的・発展的に考える活動】 (主に深める段階)

- エ 1 課題の条件や場面設定を変えた課題に取り組ませていますか。
- ・ 本質を変えずに、課題の条件を変えたり、仮定を変えたりして考えさせる。
 - ・ 課題の解決過程や得られた結果を振り返り、ほかに分かることがないかを考えさせる。
- エ 2 これまで学習した内容の考察の範囲を広げて考えさせていますか。
- ・ 違う法則を見付けさせる。
 - ・ 新たな視点から考えさせる。
- エ 3 これまで学習した内容と新しく学習した内容を、一つにまとめ合わせて考えさせていますか。
- ・ 類似した学習内容に対して、共通する性質を考えさせる。
 - ・ これまで学習した内容と新たに学習した内容との共通点を考えさせる。

【オ 自分が行った活動を振り返る活動】 (主に深める段階、まとめる段階)

- オ 1 学習した内容をまとめさせるようにしていますか。
- ・ まとめの書き方を説明したり、具体例を示したりして書かせる。
 - ・ 学習内容のキーワードを使って、生徒一人一人にまとめを書かせる。
- オ 2 解決の過程を振り返らせ、数学のよさを実感させるようにしていますか。
- ・ 学習した内容が日常生活や社会で役立っていることなどの数学の有用性を実感させる。
 - ・ 数学を学ぶ楽しさ、面白さを実感させる。
- オ 3 新たな課題を考えさせるようにしていますか。
- ・ 学習内容のまとめや振り返りを行い、次の学びにつながる疑問や課題が生まれるようにする。
 - ・ これまでの学習内容を基に、新たな課題を考えさせる。